

《受験申込書記入上の注意事項》

1. 必要事項をインク又はボールペンで、楷書で正しく記入して下さい。記入もれがあると受験できない場合があります。
2. 氏名欄には姓と名を分けて記入し、必ずカタカナでフリガナをつけて下さい。
3. 勤務先所在地に記入間違いがあると、受験票が届きませんので注意して下さい。
4. 郵便番号、電話番号、ファクシミリ番号は必ず記入して下さい。
5. 勤務先記入欄には、所属事業所、部、課名も記入して下さい。
6. 連絡先とその所属部課は、受験者が所属する会社の事務手続き等をする人です。書類の送付先や問合せ等を行う場合の連絡先を記入して下さい。
7. 受験場所は原則として、受験案内に記している会場としますが、受講申込人数その他の事情により、会場を変更する場合がありますのでご了承下さい。
8. 資格の種類
 - (1) 資格種別は、継手部位、溶接姿勢、使用するエンドタブの種類のコラボレーションにより、表 1 のとおり区分されています（種別記号で表す）。また、その資格の認証範囲は表 2 のとおりです。
 - (2) 申請しようとする資格種別は、申込書の申請種別欄の該当種別に○を付けて下さい。ただし、現在使用しているロボットが、認証を得ようとする継手部位・姿勢・エンドタブのコラボレーションによる型式認証を得ていることが必要です。
 - (3) 別紙「受講者の職務経歴証明書」に、申請しようとする種別でのロボット操作経験の記入とその証明（所属長のサイン）が必要です。

表 1 資格の種類

級別	継手の区分	溶接姿勢	エンドタブの種類	ビード継目部の処理	種別記号
基本級	柱と梁フランジ (PP)	下向 (F)	スチールタブ (S)		PP-FS
			代替タブ (F)		PP-FF
	角形鋼管と通しダイアフラム (SD)		なし (N)		SD-FN
	円形鋼管と通しダイアフラム (CD)		なし (N)		CD-FN
専門級	柱と梁フランジ (PP)	立向 (V)	スチールタブ (S)		PP-VS
			代替タブ (F)		PP-VF
		横向 (H)	スチールタブ (S)		PP-HS
			代替タブ (F)		PP-HF
	角形鋼管と角形鋼管 (SS)	横向 (H)	なし (N)	処理あり	SS-HA
				処理なし	SS-HN
	円形鋼管と円形鋼管 (CC)		なし (N)	処理あり	CC-HA
				処理なし	CC-HN
	H 形鋼と H 形鋼 (HH)	スチールタブ (S)		HH-HS	
			代替タブ (F)		HH-HF
溶接組立箱形断面柱と 溶接組立箱形断面柱 (BB)	コーナータブ (C) a)		BB-HC		
		なし (N)		BB-HN	

表 2 資格認証の範囲

級別	種別記号	継手の区分	溶接姿勢	エンドタブの種類
基本級	PP-FS	H形鋼柱と梁フランジ	下向 (F)	スチールタブ
	PP-FF	溶接組立箱形断面柱と梁フランジ 十字柱と梁フランジ H形鋼柱と通しダイアフラム 十字柱と通しダイアフラム 通しダイアフラムと梁フランジ		スチールタブ, 代替タブ
	SD-FN	角形鋼管柱と通しダイアフラム 角形鋼管柱と角形鋼管柱		なし
	CD-FN	円形鋼管柱と通しダイアフラム 円形鋼管柱と円形鋼管柱		なし
専門級	PP-VS	H形鋼柱と梁フランジ	立向 (V)	スチールタブ
	PP-VF	溶接組立箱形断面柱と梁フランジ	立向 (V)	スチールタブ, 代替タブ
	PP-HS	十字柱と梁フランジ		横向 (H)
	PP-HF	通しダイアフラムと梁フランジ	スチールタブ, 代替タブ	
	SS-HA	角形鋼管柱と角形鋼管柱	横向 (H)	なし
	SS-HN	角形鋼管柱と通しダイアフラム		なし
	CC-HA	円形鋼管柱と円形鋼管柱		なし
	CC-HN	円形鋼管柱と通しダイアフラム		なし
	HH-HS	H形鋼柱とH形鋼柱		スチールタブ
	HH-HF	H形鋼柱と通しダイアフラム		スチールタブ, 代替タブ
	BB-HC	溶接組立箱形断面柱と溶接組立箱形断面柱		コーナータブ
	BB-HN	溶接組立箱形断面柱と通しダイアフラム		なし

- (注1) 角形鋼管と通しダイアフラム (SD) が認証されれば、円形鋼管と通しダイアフラム (CD) の経験が無くても認証できる。
- (注2) 代替タブ (F) での認証を受けた場合は、同継手・同姿勢のスチールタブ (S) の経験が無くても認証される。
- (注3) 上記いずれの場合も、申請は必要 (ロボットの型式認証書添付含む)。認証登録時には種別数合計の費用が必要となる。

9. 職務経歴証明書

- (1) 職務経歴として記入できるのは、安全教育 (産業用ロボット安全衛生特別教育) 修了後から申請日までで、かつ、申請日前3年に限ります。
- (2) 期間欄の日付 (月) は、各行で重複しないようにして下さい。

<誤>

期間 (産業用ロボット特別 教育修了後から記入)	種別記号 (継手区分・姿勢 ・タブの種類)	対象工事名称	柱梁接合部形式 柱断面	ロボット操作日数 (訓練・補助を含 む)
(自) 西暦 2019 年 1 月 (至) 西暦 2019 年 3 月	SD-FN	*****	梁貫通・柱貫通 H・T・十字・□・○	50
(自) 西暦 2019 年 3 月 (至) 西暦 2019 年 6 月	CD-FN	+++++	梁貫通・柱貫通 H・T・十字・□・○	60

<正>

期間 (産業用ロボット特別 教育修了後から記入)	種別記号 (継手区分・姿勢 ・タブの種類)	対象工事名称	柱梁接合部形式 柱断面	ロボット操作日数 (訓練・補助を含 む)
(自) 西暦 2019 年 1 月 (至) 西暦 2019 年 3 月	SD-FN	*****	梁貫通・柱貫通 H・T・十字・□・○	50
(自) 西暦 2019 年 4 月 (至) 西暦 2019 年 6 月	CD-FN	+++++	梁貫通・柱貫通 H・T・十字・□・○	60

(3) 同一日に複数の工事又は複数の資格種別 (SD-FN, CD-FN 等) の操作を行っている場合は、いずれか一つの工事又は資格種別についてのみ、1日としてカウントできます。

(ある期間の経歴を記入した場合は、別の工事の経歴があっても、同じ期間の経歴を記入することはできません。)

(4) また、複数機種で申請する場合、各々の機種の職務経歴書に、同じ期間の経歴を記入することはできません。

(5) 職務経歴書の表の下の証明は、所属する部門の長が行って下さい。

10. 下記の証明書等の写しを受験申込書に添付して、提出して下さい(添付書類に不備がある場合には、受験できません)。

1) JIS Z 3841/WES 8241 半自動溶接適格性証明書 (基本級)

2) 溶接に使用するロボットの型式認証書 (日本ロボット工業会発行)

[㈱神戸製鋼所の建築鉄骨溶接ロボット型式についての注意事項]

(注4) アークマン RON/MP の SDFN はロボット型式が3種類 (SDFN061, SDFN 067, SDFN 068) あり、入熱とパス間温度に差があります。したがって、SDFN061 と SDFN067・SDFN068 は1つの受験申込書中に一緒に記載しないで下さい (一緒に記載した場合、口述試験において評価上の不都合が生じます)。どうしても3種類での申込みが必要な場合は、SDFN061 と SDFN067・SDFN068 のそれぞれの申込書を作成 (申込書2件作成) して下さい。

(注5) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格認証においては、アークマンの RON/MP と MP は別機種扱いです (石松の IR-700/900/100 と IR-700REG/900REG/100REG も同様)。

1つの受験申込書に、アークマン RON/MP の型式認証書とアークマン MP の型式認証書を一緒に添付することはできません。アークマン RON/MP の型式とアークマン MP の型式の両方を適用する場合は、受験申込書も2つ(アークマン RON/MP とアークマン MP)作成して、提出して下さい(合格後の適格性証明書も、アークマン RON/MP とアークマン MP の2枚発行されます)。

なお、アークマン RON/MP の型式認証記号とアークマン MP の型式認証記号は下記のとおりです。

アークマン RON/MP の型式認証記号 (下7桁のみ記載)

PPFS066

PPFF058

SDFN061, SDFN067, SDFN068

CDFN062, CDFN069

PPVS055

PPVF054

PPHS060

PPHF059

アークマン MP [パルスアーク溶接 (メカ呼称: REGARC)] の型式認証記号 (下7桁のみ記載)

SDFN072

CDFN073

- 3) 産業用ロボット安全衛生特別教育の修了証のコピー
- 4) 受講料の銀行振込控のコピー（振込控貼付台紙に貼る。振込控が A4 サイズ の場合は台紙貼付は不要）
- 5) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ特別教育の修了証（日本溶接協会発行）のコピー
（100 日以上の操作経験を有し，職務経歴証明書に記載のある者は除く）

11. 写真は、過去6ヶ月以内に撮影したもので，脱帽，上半身，タテ長さ 3.5cm，ヨコ長さ 3.0cm の大きさとし，裏面に氏名を記入してから枠内に貼り付けて下さい。

以上